

地蔵滝の泉

地蔵滝から湧き出る水は、年間を通じて11℃に保たれ、スッキリした味わいの天然水です。

「地蔵滝の泉」おいしい水の要件の検査結果

2013年7月10日採水

水質項目	おいしい水の要件	地蔵滝の泉	摘要
蒸発残留物	30～ 200mg/ℓ	140mg/ℓ	主にミネラルの含有量を示し、量が多いと苦味渋味等があり、適度に含まれるとコクのあるまろやかな味がする。
カルシウム、 マグネシウム (硬度)	10～ 100mg/ℓ	48mg/ℓ	ミネラルのなかで量的に多いカルシウムとマグネシウムの含有量を示し、硬度が低いとクセがないが、高いと好き嫌いがある。 カルシウムに比べてマグネシウムの多い水は苦味を増す。
遊離炭酸	3～ 30mg/ℓ	110mg/ℓ	水のなかに含まれる炭酸ガスで、これが水にたくさん含まれると水に爽やかな味や清涼感を与える。
有機物等 (過マンガン 酸カリウム消 費量)	3mg/ℓ以下	<0.4mg/ℓ	有機物量を示し、多いと渋味をつけて消毒用塩素の消費量も多くなる影響から水の味を損なう。
臭気強度 (TON)	3以下	<1 (異常なし)	水源の状況等により、様々な臭いがつくると不快感がある。
残留塩素	0.4mg/ℓ 程度以下	<0.05mg/ℓ	残留する消毒用塩素は、わずかに含まれている場合は気にならないが、濃度が高いと水にカルキ臭を与え水の味を損なう。
水温	最高20℃ 以下	11℃	水温は特に水のおいしさを左右する要因となり、10～15℃の水は、人に最も清涼感のあるおいしさを感じさせると言われている。

1985年4月25日 厚生省「おいしい水研究会」発表

※湧水は生水ですので煮沸して飲用してください